



第19回SLF講演会が4月24日、東京大学柏キャンパス総合研究棟会議室で開かれました。「老いじたく」をテーマに、第一部3人の講師による講演、第二部シンポジウム形式による意見交換会。内容は以下の通りです。170人の受講者が熱心に耳を傾けました。

【第一部 講演会】

1. 浅草公証役場 公証人 雨宮則夫氏

元水戸家裁所長・判事で現在公証人としてご活躍中。
老後の大きな問題である、相続、遺言、後見の公正証書や
公証役場の有効活用について解説。

「家族と自分が困らない為に」公証役場を利用する遺言の
書き方や、後見人を選ぶ場合の契約方法、料金などのお話。
又、後半の参加者との意見交換では、尊厳死についての説明もありました。



2. 公益財団法人日本ライフ協会 代表理事 濱田健士氏

2010年公益性の高い公益財団法人に認定され、代表理事として
福祉事業の推進にご活躍中。

「セカンドライフを自分らしく生きる」
日本ライフ協会の事業である家族に代わり高齢者の生活を支援する
「みまもり家族制度」の概略を、事例を入れながらの説明。
又、後半の参加者との意見交換では、費用負担や利用方法について
具体的な説明がありました。



3. 柏市 社会福祉協議会 権利擁護センター長 藤田哲也氏

柏市の成年後見制度に関する相談と普及啓発活動でご活躍中。

「柏市の取り組み」の現状を事例をまじえての解説と



社会福祉協議会の事業内容の説明。成年後見制度の利用は「せっぱつまってからよりも、余裕を持って相談に来てほしい」とのアドバイスなど、地元柏市での取り組みを直接聞く機会を得られてよかったとの声が多くありました。

【第二部 シンポジウム】

30 分間のシンポジウム形式により、3 人の講師と参加者による質疑応答。前半の講演に関するアンケートを休憩中に回収し、参加者からの質問に講師が回答しました。

【まとめ】

今回のセカンドライフ講演会のテーマは「老いじたく」、超高齢化社会を迎える私たちが、自分のセカンドライフを充実させる為に“元気なうちに考えておきたい事”を各分野の専門家に語ってもらいました。内容がやや概論的になりましたが、108 名からのアンケート結果は下記の通りです。回答を参考に講座等を企画予定、ぜひご参加ください。

【講演会後のアンケート 集計結果】

1. 講座全般の評価 : 概ね満足 (51%)
2. 老いじたく講座のレベル : 適当 (73%)
3. 講座の理解度 : ある程度理解できた (56%)
4. 講師の話 : 概ね満足 (48%) 大変満足 (18%)
5. 定期的な講座・勉強会への参加希望者 (57%)
6. 今後勉強したい、知りたい内容ベスト 3

① エンディングノートの書き方 ②相続の手続き ③遺言の書き方

※皆様の忌憚のないご意見をたくさんいただき、ありがとうございました。



「老いじたく」をテーマにした講座、勉強会への参加希望と回答された方で、アンケートにお名前、住所の明記ない方については、案内等の連絡ができません。
講座関連の情報については、ホームページ、又は事務局までお電話、メール、FAXにてお問い合わせください。